



クビアカツヤカミキリ対策 行動記録ファイル⑩



日時：令和8年8月27日（木）、28日（金）
場所：吉野山ふるさとセンター及び吉野山県有地及び保勝会管理地等
内容：奈良県主催『令和8年度外来生物戦略的防除に係る専門家派遣事業講演会』が吉野山で2日間に渡り開催されました。

1日目は、「クビアカツヤカミキリの被害と防除」と題して、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所の加賀谷先生をお招きし、環境省・奈良県・吉野町・自然環境研究センター・吉野山保勝会等約40名が参加しました。講演では、被害木の多い樹種としてモモ・ウメ・サクラの順で被害に遭いやすいことや全国20都府県に被害が拡大していること、段階に応じた処置方法等技術的な指導等について話された後、日頃管理する上で疑問に感じたことについて、参加者からの質問にお答えくださいました。



加賀谷先生の講演会の様子

2日目は、吉野山の現場3か所を視察しながら、さまざまなケースに応じた被害木の対処法についてご説明くださいました。傾斜の多い吉野山特有の地形では、危険な場所も多く、年に何回も近くまで確認できないようなサクラは、葉が出る季節や落葉期の様子で樹勢を確認する等の方法を取ることや、フラスだけを見つけるのではなく、樹液が出ているかを確認することで早期発見につながることをご指導くださいました。



現地視察の様子①



現地視察の様子②



現地視察の様子③